

競技専門部会より理事会への提案事項（20210410）

3月7日：理事5名、学生4名、3月21日：理事4名、学生4名（総人数：理事5名、学生10名）

1 大会の観客について

感染リスクを避けるために無観客試合とする。

2 コロナ感染者等が確認された場合の措置について（川崎トレーナー部長も競技部会議に参加）

その場合には、学連として「試合を延期する措置をとる」ということだけを明示する。

3 秋季リーグ戦の開催方法

全ての部において、下部から2チームを自動昇格させて行う。

4 リーグ改革について（秋季リーグ戦後の各部のチーム数）

下部リーグを8チーム編成とする。

5 全日本インカレ（以下、インカレ）推薦チームについて

西日本インカレ後（1週間開けて）に出場決定戦を行う（最大5節）。学連推薦枠：男子1、女子2

男子：西日本インカレでインカレ出場権を獲得できなかったチームを対象として1枠を争う。

女子：西日本インカレ出場決定戦に出場したチームを対象として2枠を争う。

参考資料(添付資料)

1 「西日本インカレ関連大会要項」

「Spring match 大会要項」

「大会開催にかかる申し合わせ事項」

「検温等送信書類」

「各チームへの連絡 2021-1(福科大会場)」

「試合方式資料 0410」

「組合せ・日程・審判 0410」

2 「コロナに対する学連の対応」

3 「秋季リーグ開催方法」

4 「秋季リーグ後の順位」

別案件（審判部とそれを統括する副理事長と検討し提案）

学生審判について

1 コロナ禍において、極力学生の移動を少なくすることを考え1日2試合を担当する。

1会場4試合の場合、通常4チームで担当するところを2チームで担当する。

2 秋季リーグに向けて、学生審判の日当も検討案件にしていきたい。

学生常任委員には、交通費、日当が支給されている。これはごく当たり前のことである。

同じようにリーグ運営には欠かせない審判を担うのだから支給があってもいいのではないか。

役員改選の機会に様々な事項で慣習踏襲を見直すべきだと考えます。